

■木材資源 循環の輪 (→13ページ) で、パーティクルボードを生産する企業は、国内にいくつか見られますが、自社生産したパーティクルボードを原材料に、収納やシステムキッチンといった最終消費者向けの製品を生産しているのは、国内で永大産業グループのみです。当社グループは限りある木材資源を再利用し、脱炭素社会の実現に貢献します。



バイオマスボイラーによるサーマルリサイクル

●選別した木材チップのうち、パーティクルボードの原材料に向かないものはバイオマスボイラーの燃料として利用されます(サーマルリサイクル)。



パーティクルボード(マテリアルリサイクル)

●木材・木質製品は解体→再資源化(木材チップ)の工程を経て、再びパーティクルボードという木質素材に生まれ変わります(マテリアルリサイクル)。

■さまざまな基材の代替品としての利用

ENボード株式会社で生産するパーティクルボードは、化粧材や置床以外に、優れた耐水性、軽さ、強度といった性能面から、従来使用されてきたさまざまな基材の代替品となる可能性があります。世界的に資源価格が高止まりする中、安定的な生産が可能なパーティクルボードは、今後も注目され続ける工業製品です。

■新たな用途としての利用

永大産業グループでは、構造用面材、フロア台板の生産を予定していますが、今後も研究を重ね、新たな用途の開発に取り組んでまいります。



再資源化(木材チップ)

●解体された木材・木質製品は破碎され、細かい石や金属などの異物が取り除かれて、いったん木材チップになります(再資源化)。



解体

●木材・木質製品には寿命があります。やがてその役割を終え、最終的に解体されますが、それで終わりというわけではありません。



パーティクルボードを基材に用いた木質製品は、一般住宅や店舗、オフィス等で長期間にわたり、「炭素の貯蔵庫」の機能を発揮します。

当社グループでは「炭素の貯蔵庫」の具体例として、次のような製品群を対象にパーティクルボードを活用しておりますが、今後、さらにお客様へのご提案を推進してまいります。



室内ドア・収納・カウンター



キッチン



室内階段



フローリング